



平成27年3月30日

各位

上場会社名 日本ラッド株式会社
 代表者 代表取締役会長 大塚 隆一
 (コード番号 4736)
 問合せ先責任者 経営企画室長 土山 剛
 (TEL 03-5574-7800)

業績予想の修正および繰延税金資産の取崩し、ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年11月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたします。また、平成27年3月期において繰延税金資産の取崩しを行う見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,003	56	45	△10	△2.45
今回修正予想(B)	3,059	△297	△301	△540	△132.44
増減額(B-A)	△944	△353	△346	△530	
増減率(%)	△23.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	3,717	11	3	117	29.18

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,905	31	△31	△7.60
今回修正予想(B)	3,057	△265	△506	△124.15
増減額(B-A)	△848	△296	△475	
増減率(%)	△21.7	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	3,550	29	42	10.46

修正の理由

(1)連結

排熱型データセンタービジネスのリソース負担が競争の足かせとなり、当該ビジネスからの売上収益が全体に与える影響が未だ好転していないなか、売上高につきましては、システムソリューション事業において第4四半期に予定していた医療機関向けシステム商材受注が翌年度に繰り越しとなり、プロダクトマーケティング事業においてもマルチスクリーンディスプレイ商談延期、組込系ビジネスの検収繰延等のマイナス要因が重なり、名古屋、大阪を中心とした地方での受注も一巡感あり今期の売上貢献とならず、ビッグデータビジネスでの大口失注もあり前回予想を下回る見込みです。

営業利益、経常利益につきましては、ネットワーク事業に於ける排熱型データセンター構築費用の減価償却費が依然として重く負担となっている所、上記商流の営業不振分を堅調なビジネスソリューション事業での収益でカバーするに至らず、前回予想を下回る見込みです。

当期純利益につきましても、既に発表の特別損失に加え、今期経常利益の悪化を受け繰延税金資産の取崩しが178百万円発生する見込みとなり、前回予想を下回る見込みです。

(2)個別

前述の理由により、前回予想を下回る見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月19日発表)	—	0.00	—	5.00	5.00

今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	5.00	5.00

修正の理由

当社は、経営の最重要指標の一つは、株主の皆様に対し利益を還元することであると認識致しており、当該事業年度の収益状況に応じつつ企業体質の強化などを勘案の上、長期的な視野に立って安定した配当を継続することを基本方針とし、実行してまいりました。

システムインテグレーター業界及び当社を取り巻く環境が大きく変動する中、今期につきましてはビジネスソリューション事業での新規開拓、ネットワーク事業の収益性改善、クラウド、ビッグデータを中心とした新たなビジネス立ち上げ、フローからストックへの構造転換による収益力の向上、医療分野を中心とした新規市場開拓などに取り組み業績向上に努めてまいりましたが、今期中の完了とは至らず大幅に赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら今期については無配とする方針に修正させていただきます。

なお、本件は平成27年6月下旬開催予定の第44回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

(業績予想に関する留意事項)

本資料に記載しております業績に関する予想数値は、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご了解ください。

以上